

渦の音クラブたより(2012年9月号)

事務局長:賀川浩一(昭54年卒)、事務局:三橋浩志・稔子(昭59年卒)

HP: <http://uzunooto.jp/> メール: info@uzunooto.jp

郵便: 〒142-0061 東京都品川区小山台 2-5-5-407、ファックス: 03-3716-4220

1. 平成24年度の「渦の音クラブの集い」は11月11日(日)に、上勝町から株式会社 いろどりの横石知二社長を講師に迎え開催

今年の「渦の音クラブの集い(総会&懇親会)」は、以下の通り開催されます。同封の案内をご覧の上、振替用紙にて参加費・年会費をお支払いのうえ、ふるってご参加下さい。

◆平成24年度「渦の音クラブの集い(第37回総会・懇親会)」◆

日時:平成24年11月11日(日) 12時より

次第(予定): 12:00-12:20 総会

12:20-13:20 講演会

13:30-15:30 懇親会

会場:ホテル・ニュー・オータニ(紀尾井町)内 レストラン「ガンシップ」(ガーデンコート 4階)

(講演会の講師)

横石知二氏(株式会社いろどり 代表取締役)

演題:「人生いろどり ～もうヒトハナ咲かそう～」

横石社長は、「そうだ、葉っぱを売ろう!」の著書でも知られるように、徳島県上勝町で「つまもの」と呼ばれる「葉っぱ」などを系統的に販売するビジネスを上勝町に立ち上げた地域活性化のカリスマです。「葉っぱビジネス」を立ち上げたご経験などを踏まえ、地域活性化のノウハウやご苦労などをご講演いただく予定です。

なお、横石社長の取組みは「四国の小さな町で起こった<奇跡>の実話」として映画化され、東京では9月15日からシネスイッチ銀座で公開予定です。映画「人生いろどり(監督:御法川修、主演:吉行和子、富司純子、中尾ミエ、平岡祐太他、音楽:原由子)」を見てから講演会を聞くと、上勝町の<奇跡>についての理解も深まると思います。(同封の映画パンフレットを参考に、是非映画もご鑑賞ください)

幹事学年:昭和58卒

2. 昨年(平成23年度)の「渦の音クラブの集い」の様子

既にホームページ等でご報告済ですが、平成23年11月13日(日)、渦の音クラブ(旧徳中・城南高校関東地区同窓会)の第36回「渦の音クラブの集い(総会・講演会・懇親会)」が約80人の参加者を集め、ホテル・ニュー・オータニ内のレストラン・ガンシップにて盛大に開催されました。

(1)総会

総会では、生田副会長(昭和41年卒)の開会挨拶に続いて賀川事務局長(昭和54年卒)による決算、事業計画、予算に関する事務局提案があり、原案通り承認されました。ご来賓として、石堂真道校

長先生(昭和46年卒)、木村清志同窓会長(昭和48年卒)、高木純一郎同窓会事務局長(昭和38年卒)に徳島からご臨席賜りました。石堂校長先生【写真1】、木村同窓会長【写真2】から、野球部の甲子園出場に関する報告や最近の母校の状況などを交えてご挨拶を頂戴しました。また、徳島県東京本部の小西副本部長(昭和56年卒)にもご参加いただき、ふるさと納税などについてご説明などを頂きました【写真3】。徳島県東京本部からは、今年も参加者へのお土産として徳島の名産品(わかめ)に加え、懇親会での料理(ちくわ、フィッシュカツなど)を差し入れ頂き、美味しく頂戴致しました。



なお、今年の総会では、冒頭に渦の音クラブ常任理事の高下さん(昭和55年卒、新日鉄勤務)の6月11日の死去など、1年間で渦の音クラブ関係者で鬼籍に入られた方、ならびに東日本大震災での被害者のご冥福をお祈りして黙祷を捧げました。

(2) 講演会

総会に続いて行われた講演会は、遠藤哲也元会長(元・国際原子力機関(IAEA)理事会議長、元・原子力委員会委員長代理:昭和28年卒)を講師に迎え、極めてホットな「福島原発事故の国際的な影響」をテーマに、原子力政策に関わってこられたご経験を踏まえ、原発事故の影響についてわかりやすく意義深いお話をお聞きすることができました【写真4】【写真5】。特に、講演会時に「独立事故調査委員会」への参画を言明されていましたが、その後、2月末の独立事故調査委員会の報告書公開時には、遠藤元会長の記者会見や首相官邸のテレビ映像を印象深く拝見しました。



(3) 懇親会

会場を移して、幹事学年の桜井歩さん(昭和57年卒)の司会で始まった懇親会は、まず、参加者で最年長の佐藤安正さん(昭和17年、旧徳中卒)から乾杯の挨拶を頂戴しました【写真6】。懇親会は、今年も竹内雅男さん(昭和54年卒)を中心とする「慶應ライトミュージックソサエティオーケストラ」OBメンバーによるジャズ演奏のもと、同窓生による楽しい懇親が行われました。また、音楽活動を再開した中川洋子さん(昭和54年卒)とのセッションは素晴らしいものでした【写真7】。

今年の懇親会の目玉企画は、城南高校野球部創設 113 年目の悲願であった甲子園出場をテーマとした「城南高校部甲子園への軌跡」の報告でした。20 年前の「おはよう徳島」の映像から始まり、秋の徳島県大会や四国大会の試合風景、そして甲子園で報徳学園に勝利した試合映像などを元・野球部マネージャーの綱島久美子さん(昭和 55 年卒)と、急遽徳島から駆け付けた野球部OB会事務局長の立石剛さん(昭和 57 年卒)による分かり易くも楽しい解説を交え鑑賞しました【写真 8】【写真 9】。そして、野球部の甲子園出場までの苦労と選手達の頑張り、関係者の努力などを改めて知ることができました。甲子園に応援に行けなかった同窓生の皆さんとともに、あの感動をもう一度味わうことが出来たことを嬉しく思いました。



宴たけなわとなったところで、最後に「旧制徳島中学校歌」、「城南高校校歌」を参加者全員で斉唱しました【写真 10】。幹事挨拶となり【写真 11】、平成 23 年度の「渦の音クラブの集い」は成功裏に終了しました。



3. 若手会員による交流会（平成 24 年 6 月 7 日開催）の報告

渦の音クラブの卒業年別会員構成をみると、昭和 40 年代の卒業生は、各学年で 100 人以上が関東在住ですが、最近各学年で 10 人くらいしか関東に卒業生がいない状況です。そのため、卒業 30 年目(48 歳時)の卒業生が担当する「渦の音クラブの集い」の幹事の引き継ぎも厳しくなっており、若手会員の発掘と参加の促進が求められていました。

そこで、平成 24 年 6 月 7 日に都内で若手会員の発掘と交流を目的として、今後幹事を担当することになる昭和 58 年卒以後の会員による「若手会員による交流会」を開催致しました。卒業 30 年以内(昭和 58 年卒以降)の方(住所の判明している 210 名に案内送付)と、総合選抜制以後(昭和 51 年卒以後)の渦の音クラブ役員、合わせて 20 名が参加し、盛会に交流会が開催されました。参加者から「11 月の総会には同期を誘って参加します」、「渦の音クラブはシニアの卒業生だけが参加する会と思っていたが、若手でも楽しい会に出来そう」、「もっと早く知



っていれば良かった」という声を聞くことができました。若手会員の発掘と積極的な参加で、渦の音クラブの活動が活性化出来るように、ご支援宜しくお願いします。なお、「若手会員交流会」の開催には、徳島の同窓会本部からの活動支援資金を活用致しましたこと、御礼申し上げます。

4. 母校、故郷のための支援・協力をお願い

(1) 渦の音クラブによる母校部活動への支援

渦の音クラブでは、全国大会で上京した母校の部活動に支援を行っています(「春高バレー」への支援など)。一口1千円の渦の音クラブの年会費は、会員の皆様への連絡費用に留まらず、母校への支援金の原資ともなっておりますので、会費の納入を宜しくお願いします。

(2) 城南高校後援会による母校部活動への支援と「同窓会報」の発行協力金

城南高校では各種部活動への支援を行う「城南高校後援会」が平成13年に発足し、PTAである松柏会、同窓生の交流を図る同窓会と連携して部活動への支援活動を行っています。後援会と本部同窓会のホームページも充実が図られ、インターハイへの遠征支援などを行っています。支援金の振り込み方法などの詳細は城南高校後援会のHPをご覧ください。また、同窓会本部が発行している「同窓会報」は、先日は第86号(2012年7月2日発行)も全卒業生(住所が判明している約2万5千人)が個別同窓生に郵送されております。「発行協力金」の案内が同封されていたと思いますので、ご協力宜しくお願いします。

(3) 「ふるさと納税」による故郷徳島への支援

故郷徳島への支援を行う「ふるさと納税」制度も既に5年目を迎えました。徳島県のふるさと納税額は全国でも上位であり、徳島県人の故郷への「熱い想い」が伺えます。「ふるさと納税」は、徳島県等に郵便振り込み等で寄付金を振り込み、その寄附金のうち一定の額(所得により3,800円～4,850円)を超える部分については、住民税の概ね1割を上限として所得税と合わせて控除されます。また、徳島県の場合は、広報誌「OURとくしま」1年分(年8回)、特産品のすだち、県立施設(近代美術館、文学書道館、渦の道など)ペア招待券などがお礼として送られるそうです。「渦の音クラブの集い」でふるさと納税のパンフレットをお渡しする予定ですので、ご協力宜しくお願いします。

5. 事務局たより

我が家で伝統ある渦の音クラブの事務局をお引き受けして2年が過ぎました。至らない点多々ありますこと御容赦下さい(個人宅のため連絡がメール、fax 中心となっております)。ホームページやブログに加え、今後はフェイスブックなどのソーシャルネットワークも活用し、会員の皆さまとの連絡を密にしていきたいと考えておりますので、ご支援宜しくお願い申し上げます。なお、2012年8月12日(日)に徳島で開催された同窓会本部総会には、今年も昨年に引き続き渦の音クラブから澤田会長、賀川事務局長が参加し、渦の音クラブの活動状況を報告するとともに、同窓会本部役員とのネットワークを深めて参りました。写真は講師で元麻布「かんだ」の三つ星シェフ、神田裕行氏(昭和57年卒)と澤田会長、賀川事務局長のツーショットです。



事務局：三橋浩志・稔子(昭和59年卒)

発行：2012年9月1日